

## L R Tデザイン部会の検討状況について

## 1 L R Tデザインの検討について

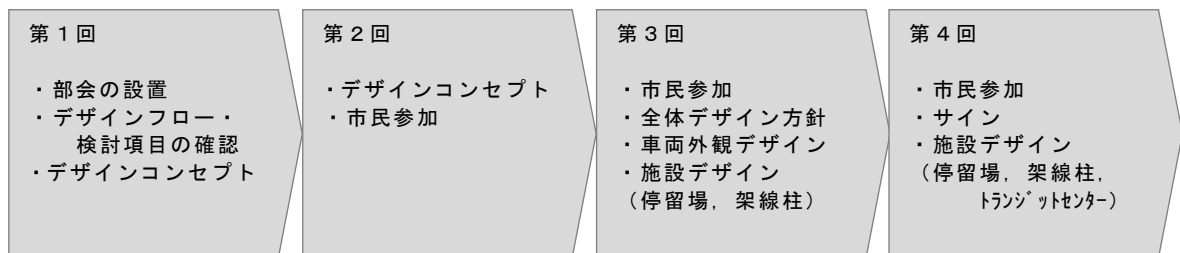
L R Tデザイン部会において、L R T車両や施設を統一感のあるデザインとすることにより、明示性や魅力を高める「トータルデザイン」の検討を行っているところであり、昨年10月には、デザインを展開していく上での基本的な考え方となるデザインコンセプトを「雷都を未来へ」として発表したところである。

今回は、今年度のL R Tデザイン部会における検討状況について報告する。

## 2 検討体制について（別紙1「L R Tデザイン部会設置要綱」）

L R Tデザインの検討に当たっては、デザインの各種専門的な検討や住民意見を聴取するため、「芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会」の専門部会として、有識者、住民、運行事業者、行政により構成する「L R Tデザイン部会」を設置し、検討を行っている。

## 3 検討状況について



昨年8月に「L R Tデザイン部会」を発足し、第1回、第2回の部会にてデザインコンセプトの素案を作成し、その後、第14回芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会、庁議を経て、10月にデザインコンセプトを公表した。

その後、第3回、第4回の部会にて、デザインコンセプトに基づいたデザインを検討する上での、全体のデザイン方針を設定し、今後、トータルデザインで取り組む各要素別の基本方針について検討を行ってきた。（→別紙2参照）

## 4 今後の取組について

今年度設定したデザインコンセプト、全体デザイン方針、各要素別の基本方針を基に、車両や各種施設の整備に向けた検討を行うとともに、その過程においては、効果的な市民参加の手法について、引き続き検討を行っていく。

## L R T デザイン部会設置要綱

## (設置)

第1条 芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会（以下「委員会」という。）設置要綱第9条に基づき、L R T デザイン部会（以下「部会」という。）を設置する。

## (検討事項)

第2条 部会は、次の各号に掲げる事項について検討する。

- (1) デザインの基本コンセプトに関する事項。
- (2) 施設デザインや広報計画デザインに関する事項。
- (3) その他部会の目的を達成するために必要な事項。

## (組織)

第3条 部会は、別表第1に掲げる委員で組織することとし、市長が委嘱する。

- 2 有識者委員の任期は、委嘱の日から検討終了の会議の日までとする。
- 3 行政委員、軌道運送事業者委員及び利用者委員の任期は、委嘱の日から検討終了の会議の日までとし、委嘱されたときにおける当該職又は身分を失ったときは、その職を失う。
- 4 欠員が生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

## (部会長)

第4条 部会に、部会長1人を置く。

- 2 部会長は、委員の互選によって定める。
- 3 部会長は、会務を総理し、会議の議長となる。
- 4 部会長に事故があるとき、又はやむを得ず欠席するときは、部会長があらかじめ指名したものがその職務を代理する。

## (行政アドバイザー)

第5条 部会に、別表第2に掲げる行政アドバイザーを置く。

## (会議)

第6条 会議は、必要に応じて、部会長がこれを招集する。

- 2 部会長は、必要に応じて、関係者の出席を求め、その意見を聞くことができる。

## (事務局)

第7条 部会の事務局は、宇都宮市建設部L R T 整備室及び芳賀町建設産業部都市計画課に置く。

## (その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関して必要な事項は、部会長が別に定める。

## 附 則

この要綱は、平成28年8月3日から施行する。

別表第1（第3条関係）

	氏名	役職等
有識者委員	望月 明彦	元富山市助役
	山島 哲夫	宇都宮共和大学教授
	三橋 伸夫	宇都宮大学教授
	橋本 優子	宇都宮美術館主任学芸員
	坂本 廣樹	栃木県デザイン協会会長
行政委員	吉田 信博	宇都宮市副市長
	上野 哲男	芳賀町副町長
軌道運送事業者委員	中尾 正俊	宇都宮ライトレール株式会社常務取締役
利用者委員	金田 貞夫	宇都宮市自治会連合会会長
	関本 一雄	芳賀町自治会連合会会長
	大貫 隆久	社会福祉法人宇都宮市社会福祉協議会副会長
	岩村 誠	社会福祉法人芳賀町社会福祉協議会会長

別表第2（第5条関係）

行政アドバイザー	栃木県 県土整備部 交通政策課長
----------	------------------

# LRTデザイン部会の検討内容について

## 1 検討フローについて

LRT部会におけるトータルデザインの検討にあたっては、トータルデザインにおいて色や形を具現化し、デザインを展開していく上で基本的な考え方となるデザインコンセプトを設定し、それに基づいた要素別のデザイン方針の検討を行った。

## 2 デザインコンセプトについて

デザインコンセプトは、視覚的な統一感を持たせるための色や形を具現化し、デザインを展開していく上で基本的な考え方となるものであり、設定するための要素として、芳賀・宇都宮をイメージする「気候・風土」、「地形」、「産業」、「歴史・文化」、「名産」等の案を基に検討を行った。



## 3 デザインコンセプトに求められるもの

デザインコンセプトの検討を行った結果、芳賀・宇都宮LRTのデザインコンセプトの要素として、

- 持続性を持ち廃れないものとする『普遍性』
- 他になく、宇都宮市と芳賀町の固有性を示す『独自性』
- 多様なデザインに反映できる要素を持つ『展開性』

以上の特性を有する「気候・風土」の象徴である『雷』が最も望ましいとし、「雷」の恵みと同様に、LRTが未来に向けて恵みを与えてくれる役割を担っていくものとしてデザインコンセプトを設定した。

## 4 トータルデザインコンセプト (デザインの基本的な考え方、基準)

### 雷都を未来へ

LRTによる  
未来のモビリティ都市の創造

芳賀・宇都宮は、豊かな風土を礎に交通の要衝として発展してきました。  
日光連山と関東平野の境界という立地と、まちを南北に流れる川や用水は、台地と低地が織りなす地形をつくり、土地を肥沃にし、物流や産業を支えてきたのです。

この風土を象徴するのが、夏の日、夕立を知らせる「雷」です。  
「雷」とともに降る雨は、河川を豊かにし、「雷」は稲の実りをもたらす「恵みの象徴」として、人々は「雷」を崇拝し、「雷様」と呼ぶようになりました。  
古来、「雷」がこの地に恵みを与えてきたように、  
LRTは、人々に利便性や快適性、そして交流、地域に活力や豊かさという恵みを与える役割を担います。  
私たちは、このような意志と願いを込めて、雷の都、「雷都」を未来へ繋げます。

## 5 デザインへの展開

**【考え方】**  
デザイン対象各々の位置づけに応じて、デザインに込めるメッセージや主張の度合いに差を設け、全体としてデザインコンセプトを利用者に明快に伝えることができる表現方法を設定する。

(デザインコンセプトの直接的表現)  
シンボリックな存在となる車両、事業VI (シンボルマークなど)、サインなど  
(コンセプトを保ちつつ、地域固有の個性の取り込み)  
地域に根付いて存在する停留場やトランジットセンターといった施設

**【デザインモチーフ】**

【具体的表現】

【抽象的表現】

## 6 要素別デザイン方針

車両	施設 (停留場/架線柱)	サイン	トランジットセンター	事業VI (シンボルマーク)	
<p>芳賀・宇都宮の顔となり、「雷都を未来へ」を具現化するデザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まちの顔となる 『独自性』</li> <li>・ 地域固有の風土を感じる 『雷の光』</li> <li>・ 将来イメージを牽引する 『先進性』</li> </ul>	<p>沿線の歴史と風土を未来へ継承し、沿線住民に愛され、支えられるデザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全性、バリアフリー、経済性、維持管理を考慮</li> <li>・ 車両を引き立てる シンプルなデザイン</li> <li>・ 地域の風土を象徴する 大谷石を活用</li> </ul>	<p>スムーズな交通結節を促し、まちの魅力を伝え、回遊性を高めるデザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3つの利用者の視点に配慮 「駅誘導系サイン」 「乗車系サイン」 「降車系サイン」</li> </ul>	<p>風土を活かす景観の形成し、沿線住民の誇りとなるデザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 風土を活かした魅力的な空間創出</li> <li>・ 利活用可能なオープンスペース</li> <li>・ 地域のシンボルとなる施設</li> </ul>	<p>LRTのイメージを明確に表現するデザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 芳賀・宇都宮LRTの象徴</li> <li>・ 様々なアイテムに活用できる 汎用性・展開性確保</li> </ul>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">市民参加</p> <p>LRTが将来にわたり、市民に愛され、支えられていく魅力的な公共交通とするため、関心を持ってもらい、「我が事意識」を高める</p> <p><b>【市民参加取組案】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 車両デザイン、愛称、ラッピング</li> <li>・ シンボルマーク</li> <li>・ 路線愛称</li> <li>・ 停留場個性化</li> <li>・ ベンチドネーション</li> <li>・ ネーミングライツ</li> </ul> <p>※参加手法については検討</p>
<p>【ストラスプール】 【マルセイユ】</p>	<p>【富山ライトレール】</p>	<p>【新潟BRT】</p>	<p>【牛久駅前】</p>	<p>【新潟BRT】</p>	